

制作中のストラップを手にする後藤岬さん(右)と、フェア会場の動画撮影を予定する塚原竜広さん。高森町



学生の感性で 阿蘇を作品に

「クラフトフェア」

崇城大生が出演へ

熊本市の崇城大芸術学部
の学生が、高森町
上色見の阿蘇フォーク
スクールで10～12日に
ある「アート&クラフ
トフェア」で、阿蘇を

題材にした作品を披露
する。

同学部の三枝泰之教

授のゼミ生が昨年9月

に同スクールの展示会

を手伝ったのを機に、

今回の出品を依頼さ

れ、デザイン学科4年

の2人が手を挙げた。

2人のうち後藤岬さ

んは、根子岳やあか牛

をデザインしたストラ
ップを石塑粘土で制
作。会場では、これま

でに作ったアクセサリ

など100点を並

べ、即興の似顔絵も描
いてみせる。

電化製品や雑貨の紹
介動画を手掛ける塚原

竜広さんは、フェアの

様子をインターネット
の生中継サイトで発信
する。「若者らしくポ
ップな感性で阿蘇を描
きたい」と意気込んで
いる。

フェアは全国の作家

約150人が工芸品や

雑貨を展示販売する。

(堀江利雅)